

非鉄流通のいま

34

隔週金曜日掲載

横浜伸銅

げて以来、神奈川県とテレンス10%、その他東京都西部を中心に約2%。ユーザーのニール350社のユーザーをズに合わせて自社で保もつ。有する加工機で切断、

権田金属の子会社で切削加工、精密金属加工もあるものの銅・黄銅・マグネシウムだけでなくアルミ、ステンレス、樹脂製品までラインアップしている。製品販売の比率（売上高）は銅45%、黄銅15%、アルミ28%、ス

加工品販売を強化

協力会社と連携、コスト削減

（売上高）は銅45%、黄銅15%、アルミ28%、ス

ては「ユーザーの海外移転などで将来的にユーザーのコスト削減に貢献する取り組みを通じて、横浜伸銅は将来的に加工品比率を現状の1割から2割まで拡大していきたい考え。

横浜伸銅は権田金属工業グループの非鉄金属流通。1961年に伸銅メーカーの権田金属工業と伸銅品流通の福田地銅店の関係者が神奈川・横浜に立ち上



権田社長

神奈川県の老舗としてユーザーからの信頼は大きく、小口短納期対応や幅広い在庫ラインアップは多くの支持を集める。しかし権田社長は「ユーザーの海外移転などで将来的にユーザーのコスト削減に貢献する取り組みを通じて、横浜伸銅は将来的に加工品比率を現状の1割から2割まで拡大していきたい考え。

（遊佐 鉄平）



首都高横羽線高架沿いの本社

会社概要

- そのアプローチの一つが加工品販売の強化。ユーザーの負担になっている加工を横浜伸銅が協力会社と連携して手掛け、ワンストップで製品を届ける体制作りだ。協力会社とのWIN-WIN圏を広げていく可能性もあるが、「いまは体制固めが優先。従業員の育成などを進めたい」（権田社長）との方針だ。
- ▽資本金 1500万円
- ▽年商 9億3000万円（13年度実績）
- ▽所在地 神奈川県横浜市神奈川区神奈川2-10-15
- ▽社長 権田源太郎氏
- ▽扱い品種 銅、黄銅、アルミ、ステンレス、マグネシウム、樹脂など

